

この度 本校では 高崎商科大学と簿記会計教育に係る高大連携の協定書調印式を挙行いたしました その詳細について御紹介します

1 内容について ※高大接続「Haul-A プロジェクト」

Haul-A プロジェクト(ホールエープロジェクト)とは、高校3年間+大学4年間の高大7年間の商業教育を通じ、会計を通じて社会貢献したいと考える子どもたちの「志」を実現するための高大接続教育プロジェクトです。本プロジェクトでは、「高校」「大学」「公認会計士」(以下、「関係者」)が最大限の知恵を出し合い相互に連携して教育を行います。

(高崎商科大学 web サイトより)

2 経過について

本校情報経営科の2年生が、昨年日本商工会議所主催の簿記検定2級に合格しましたが、高崎商科大学と関連する「日本商業教育振興会」の学習支援プログラムを活用したことによるもので、この実績をさらに拡充させたいという願いから大学との高大連携を模索して参りました。

そして、この度、山形県では山形県立酒田光陵高等学校に次いで2番目の連携締結の運びとなりました。

3 協定書調印式について

- 1 日 時 令和3年2月24日(水) 11:30より
- 2 会 場 本校 校長室
- 3 方 法 オンライン(Zoom)により調印式を行いました。

※コロナ禍により、対面による調印締結式は調整困難となったためです。

- 4 その他 調印締結式後、高崎商科大学学長と本校校長の座談会を行いました。

※ 高崎商科大学より送付された資料です

高崎商科大学 高大連携事業
Haul-A プロジェクト
(Highschool and University Link, For Accounting)

—簿記会計教育連携に係る協定書調印式—

1 目的

簿記会計（特に、職業的専門家としての公認会計士・税理士、会計プロフェッショナルとしての企業会計人、商業科高校教員等）を通じて自分らしく地域社会に貢献したいという本校生徒の夢と希望（志）を実現することを目的として、「商業高校」「大学」「公認会計士」が連携する『Haul-A プロジェクト』に賛同し、相互に協力する。

2 内容

本校商業科教員による授業と高崎商科大学経理研究所からストリーミング配信される教材との連携を図るとともに、大学や公認会計士からのサポートを受けながら、時代の進展に即した質の高い簿記会計教育を展開し、公認会計士、税理士、企業会計人等を志望する生徒への期待に応える。

3 調印式

(1) 日時 令和3年2月24日 11:30～

(2) 会場 Zoomによる遠隔

※ミーティング情報につきましては、別途 Zoom より永岡先生宛にご案内申し上げます。

(3) 次第

- 1 淵上 勇次郎 学長 挨拶
- 2 佐藤 睦浩 校長様 御挨拶
- 3 協定書調印（淵上学長のサイン済、佐藤校長署名、捺印。）
- 4 小島 一富士 日本商業教育振興会代表理事 挨拶

(4) 出席者

山形県立上山明新館高等学校

校長	佐藤 睦浩 様
教頭	大内 郭嘉 様
	上浦 勤 様
情報経営科長 商業科教諭	樋口 斉 様
情報経営科 商業科教諭	永岡 誠 様

高崎商科大学

高崎商科大学/高崎商科大学 学長 高崎商科大学 経理研究所 所長	淵上 勇次郎
一般社団法人 日本商業教育振興会 代表理事 公認会計士	小島 一富士
高崎商科大学/高崎商科大学 事務局長	鱈淵 一夫
経理研究所 事務局	遠藤 康生
	青木 準
	茂木 誠



オンラインですが 和やかな雰囲気 で 協定書調印式が始まりました
 この調印式については 山形新聞 毎日新聞にも掲載されました

上山明新館高と高崎商科大 簿記教育で連携協定

（佐藤睦浩校長）は24日、群馬県高崎市の高崎商科大（瀧上勇次郎学長）と「簿

記教育連携にかかる協定を締結した。公認会計士や税理士などを目標とする生徒が、オンラインで大学の簿記や会計学などの講座を受講できるように。将来の資格取得へ大学がサポートする。

同大は、高校と大学の7年間で税理士・公認会計士養成を目指す高大連携事業「Hau（ホール）ーAプロジェクト」を展開。全国の高校と協定を結んでいる。同高は大学の学習支援プログラムを活用して「簿記2級の合格者を輩出する」としており、さらなる教育の充実を図ると協定締結に至った。

協定締結により、希望する生徒は同プロジェクトを受講でき、オンライン講座による専門的な学習や、公認会計士からの指導などを通し「簿記検定1級の取得を目指す。同大と県内高校との協定締結は酒田光陵に続き2校目。

調印式はオンラインで行われ、瀧上学長は「高校生の夢がかなうよう後押ししながら、日本や地域発展のために努力してくれる人材を育てたい」とあいさつ。佐藤校長は「協定締結は大きなチャンスであり、生徒たちのキャリアアップにつなげたい」と述べた。（長瀬亮）



協定書を手にする佐藤睦浩校長（右）と瀧上勇次郎学長（左）

21 山形 山形 2021年(令和3年)2月25日(木)

山形支局
〒990-0044
山形市木の奥町8の3
プライムスクエア山形ビル2階
023-622-4201 023-628-2011
米沢通信部 0238-21-7560
鶴岡通信部 0235-29-2540
山形毎日広告社 023-623-6126
0120-468-012

山形中央 642-1620 山形北部 642-1620
山形西部 642-1620 山形蔵王 672-1027
山 辺 642-1620 米沢中央 23-0607
赤 湯 43-2154 上の山 672-1027
天 童 654-1290 谷 地 72-6474
新 庄 22-8149 藤 島 64-2030
鶴岡東 25-2055 酒 田 21-2120

毎日新聞

資格取得を後押し

上山明新館高と高崎商科大の連携

上山明新館高校（上山）に貢献できる人材を育山（山形）は24日、高崎商科大（群馬県高崎）と連携協定を結んだ。高校での3年間で簿記教育など連携する協定を結んだ。知られる日商簿記検定1級の合格を目指す。同大は2020年9月1日の生徒は、高崎商科大が提供するオンライン講座を受けたり、問題集や教科書を無償で譲り受けたりする。

24日、オンラインで行われた協定締結式で、瀧上学長は「協定締結を機に、生徒たちのキャリアアップにつなげれば、地域で活躍する人材になってほしい」と話した。【藤村元六】

協定書を持つ上山明新館の佐藤校長（右）と高崎商科大の瀧上学長＝上市市で